

江津湖研究会（地域文化活動部門）



概要

設立年月 昭和五十七年二月

会長 梶田 聖 孝

会員数 百五名

所在地 菊池郡大津町吹田

一五八一七〇

電話番号 〇九六一九三六四〇三

主な活動地 江津湖・阿蘇・白川・坪井川

これまでの活動歴

- ・昭和五十七年二月 江津湖研究会として発足
- ・昭和六十一年七月 会誌『江津湖』創刊号発行
- ・昭和六十二年十二月 会誌『江津湖』第二号発行
- ・昭和六十三年十二月 会誌『江津湖』第三号（創立六周年記念号）発行
- ・平成二年三月 会誌『江津湖』第四号発行
- ・平成二年四月～七月 江津湖総合調査を実施
- ・平成三年三月 会誌『江津湖』第五号発行（江津湖再生対策号）
- ・平成四年五月 第一回熊本県水環境会議開催
- ・平成四年十月 会誌『江津湖』第六号（創立十周年記念号・熊本県水環境会議報告特集号）発行
- ・平成七年一月 会誌『江津湖』第七号発行

江津湖研究会は、昭和五十七年に設立して以来十五年にわたり水環境問題に取り組み続けています。江津湖を熊本の水環境の顔としてとらえ、その再生策を求めて植物、魚、水質浄化対策等の総合的な調査・解析を行っている。また、近年は阿蘇、白川等の調査も行い、その結果を機関誌『江津湖』などで発表している。

特に平成四年は、十周年記念行事の一環として、第一回熊本県水環境会議を開催し、その成果を『江津湖』第六号（十周年記念号）に発表し、注目を集めた。

平成六年から江津湖環境塾（年五回開催）、親子自然観察会（年一回、夏・冬）、熊本市動植物園と共催の江津湖サマースクール、講演会などを開催し環境教育にも力を注いでいる。

行政あるいは他の団体との連携を図りながら、江津湖の自然展、自然ふれあい観察会（冬鳥探鳥会等も）を毎年行っている。

機関誌『江津湖』は平成七年で第七号を発行し、毎号掲載の江津湖再生策のデータは県・市の行政機関のほか県内小中学校、図書館、公民館等に配布するなど顕著な活動を続けている。